

今日の目標 (Can Do) を明確にした授業を
—第8回全国模擬授業大会・国際大会で考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q : 本年も全国模擬授業大会・全国大会を開催したそうですね。

A : (林明夫：以下省略)

- (1) はい。5月26日(日)に白鷗大学足利高等学校富田キャンパスをお借りして開催、450名もの参加者がありました。開倫ユネスコ協会名誉会長で経済産業大臣の茂木敏充先生は S.P.や栃木県警の厳しい警備の下、お忙しい中、本年もご祝辞を述べてくださいました。文部科学大臣の下村博文先生からは祝電、参議院議員の上野通子先生、公益財団法人文字・活字文化推進機構理事長の肥田美代子先生からも心温まるご挨拶を頂くことができました。
- (2) 審査委員長をお願いした野田塾塾長の小川英範先生をはじめ全国各地からの31名の先生方が、出場なさった先生方62名の審査に当たってくださいました。
- (3) 厳正な審査の結果、本年の個人優勝は千葉県のアガトス 創学舎の村田寛之先生、団体優勝は愛知県の野田塾が受賞しました。
- (4) また、お隣の韓国からは、尊敬する青木清先生のお世話で元ソウル市教育長で現朴槿恵大統領の家庭教師をなさった韓日教育文化協議会会長の安長江先生と SEOUL 昌文女子高等学校の現職教師金恵珍先生、姜秀珍先生をお招きし、講演と英語による英語の模擬授業をして頂きました。

Q : 今年の特色は何ですか。

- A : (1) 第1は、学習塾や予備校の先生や私立学校の幹部の先生だけでなく、私立学校の現場の先生方の参加が多かったということです。第10回までには公立の学校の先生や教員養成を担当する大学の先生方にも少しずつ広めていければと考えています。
- (2) もう1つの特色は、すべての授業に本日の授業の目標を Can Do の形、つまり本日の授業に参加した結果どのようなことができるようになるかの形で予め示すようお願いしたことです。ヨーロッパでは「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠 Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment」(朝日出版社 2004年9月25日刊)が長年の研究成果として共有化され、大学でもエラスムス(国境を越えた大学等高等教育機関の間での単位互換の動き)で活用。理解する(読む、聞く)こと、話すこと、書くことの各領域ごとに A₁、A₂、B₁、B₂、C₁、C₂とレベルを表示し、各レベルに応じたできることを Can Do List(キャン・ドゥ・リスト)の形で示し、レベルに沿った授業が求められています。

(3)日本でも英語検定協会をはじめ様々な団体がこの動きをスタート、文部科学省も英語教育の中に取り入れようとしています。

第8回全国模擬授業大会・国際大会では、英語だけでなく、すべての授業について本日の目標をこの Can Do(～することができる)の形で明確化することを奨励して大会を開催しました。

(4)各教科で何人かの先生方が、「本日の授業の目標」「本日の Can Do」などと授業に参加して何ができるようになるかを予め明示して授業を展開。この世界や日本の最先端の授業に高い評価が集まりました。

Q：学習塾・予備校・私立学校の経営者や先生方にお伝えしたいことは何ですか。

A：安倍内閣は教育再生会議を通じてアベノミクスの3本目の矢である日本の成長戦略の担い手であるグローバル化時代に対応できる人材育成を本気で考え、大学入試の英語の TOEFL での代用、高校だけでなく、中学校の英語の授業を英語で行うこと、小学校にも正規の英語の授業を導入することなどを、教育委員会改革とともに次々に実行しようとしています。

私はこれらと同時に、小学校から大学院までのすべての科目の授業に「本日の目標」「本日の Can Do」を導入し、授業方法の本格的改革を行い、教育の成果を大幅に高めることを提言したく考えます。

その日に行う授業の目標が、今日の授業の結果このようなことができるようになると Can Do の形で明確になり、先生も、児童・生徒・学生もその目標に向かって最善の努力、営みをすれば大きな教育成果となると確信いたします。

開倫塾では本年4月からすべての授業に「本日の目標」「本日の Can Do」を明確にする試みをスタートいたしました。是非、先生方もお考え頂きたく希望いたします。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)第8回全国模擬授業大会・国際大会の翌日の5月27日(月)には、昨年11月5日から3日間開かれた第1回世界5Sサミットのコンパクト版を足利5S学校の協力を得て実施。オグラ金属株式会社や足利市役所の他、栃木県立足利清風高校を訪問。

足利清風高校は「清風の奇跡」とよばれるほど、5S活動などの取り組みにより学校改革に成功、地域No.1の高い評価を得るに至りました。学校や学習塾でも5Sの取り組みは極めて有用のようです。

(2)お読みになれば必ず皆様のお役に立つ本として今月御紹介したいのは、現在セブンアンドアイ・フードシステムズ(デニーズ等)社長で、ユニクロや良品計画のコンサルティング、成城石井の社長をつとめて各社の経営改革を行った大久保恒夫氏著の「利益を3倍にするたった5つの方法」(ビジネス社、2007年刊)と「実行力100%の会社をつくる」(日本経済新聞社、2010年刊)の2冊です。学習塾・予備校・私立学校の経営者のために書かれた本と思われるくらい身にしみる2冊です。

是非、御一読を。

— 2013年6月3日林明夫記 —